

9月の野菜の見通し

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5ヵ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
ねぎ		5,308	前年並み	4,635	250	112	309	474	8.9	青森、北海道、秋田、茨城産中心の入荷となる。各産地とも干ばつで太物の発生は少ないが、旧盆明けから降雨もみられ、回復が期待される。総入荷量は前年並み、価格は前年より高いが平年より安い見込み。9月は気温低下と学校給食の開始もあり、消費活発化が予想される。
きゅうり		7,096	105	7,460	345	81	303	299	4.2	福島、秋田、岩手、群馬、茨城産が中心。東北産地は抑制物はピークを迎えるが、作柄は今一つで減りが早まる見込み。群馬・埼玉の抑制物は生産量は前年を上回る。総入荷量は前年を上回り、価格は高騰した前年を大幅に下回るが平年並み。シルバーウィーク前後に入荷の山が大きくなる模様。
なす		3,255	前年並み	3,389	370	98	316	9	0.3	栃木、群馬産が中心。関東の露地栽培は総じて生育順調。台風などの気象災害なければ、総入荷量は平年並み、価格もほぼ前年並みの見込み。秋商材として需要も高まり、中旬にはシルバーウィークがらみの特売に向け強含みの展開が予想される。
トマト		6,718	前年並み	7,654	434	92	403	67	1.0	各産地とも7～8月の高温干ばつで花落ちが散見される。旧盆明けからの天候のぐずつきもみられ、9月前半まで出方は鈍い見通し。こんごの天候次第だが、総入荷量は入荷量の少なかった前年並み、価格は高騰した前年を下回るがほぼ平年並み。旧盆明けから北海道、東北産が減少する中、関東産の抑制物が増え切らず強含みとなるが、下旬には抑制物が本格出荷し、価格は下がってくる。